

～ 十勝岳の状況について ～

噴火警戒レベル「1」

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

◇ 噴煙^{※1}などの表面現象の状況

- ・ 62-2火口の噴煙の高さ 火口縁上 400m以下(前月600m以下)
- ・ 大正火口の噴気の高さ 100m以下(前月100m以下)
- ・ 振子沢噴気孔群の噴気の高さ 稜線上 200m以下(前月300m以下)

◇ 地震活動等の状況

- ・ 火山性地震 ～ 25回(前月49回)
- ・ 火山性微動 ～ 0回(前月0回)

◇ 地殻変動の状況

高性能なGPS連続観測では、2021年以降に山体浅部の収縮傾向を示す地殻変動が観測されていましたが、2022年以降次第に鈍化し、2024秋以降は概ね停滞しています。

- ※ 十勝岳における噴火警戒レベル「2」への引上げ基準
- ・ 噴火が発生し、火口から概ね1.5km以内に大きな噴石が飛散
 - ・ 噴火が発生し、噴煙の高さが火口縁上1,000m程度を観測
 - ・ 火口直下で火山性地震が150回/24時間を超える
 - ・ 火口直下で山体浅部の膨張を示す地殻変動を観測
 - ・ 最大振幅1 μ m以上かつ10分以上継続する火山性微動を観測などから複合的に判断されます。



～ 大雪山の状況について ～

噴火警戒レベル「1」

～火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません～

◇ 噴煙などの表面現象の状況

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さ 火口上300m以下(前月200m以下)

◇ 地震活動等の状況

- ・ 火山性地震 ～ 16回(前月11回)
- ・ 火山性微動 ～ 0回(前月0回)

- ◆ 火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。

※1 噴煙とは、火山活動によって火口から上昇する煙状または雲状の火山噴出物、火山ガス及び周辺の大気が混合したものの、噴気とは火山ガスのことです。

※2 火山性微動とは、地下のマグマや火山ガス、熱水などの移動や振動が原因と考えられており、火山活動が活発化したときに多く観測されます。

◇ 本資料は、札幌管区気象台地域火山監視・警報センターが発表する資料に基づき作成しています。詳細は気象庁公式ホームページをご覧ください。